

美しき刻—賛美抄歌 守みどり 日本画展

【会期】 9月4日(水)～9月9日(月)
【会場】 福山天満屋6階 美術画廊
福山市元町1-1
☎084(927)2621(直通)



「いおり」20号M



「卯の月」45.5×16.0cm



「早緑の中に」8号F



「華美」10号S



「光函」WSM

もり・みどり

1968年千葉県生まれ。97年東京藝術大学大学院日本画修士課程修了。2007年春の院展奨励賞(同08,12,19年)。08年春の院展足立美術館賞。15年春の院展春季展賞・郁夫賞(同16年)、再興院展奨励賞(同16年)、前田青邨顕彰中村奨学会中村賞。現在日本美術院院友。

花の美しさに感動したり、猫や兎のような小動物に愛らしさを感じたりするのは、当たり前のように不思議なことでもある。天が与えた命に対して、人間の感情が自然に動かされる不思議である。守みどりが描く装飾的な作品は、鑑賞者の心に瞬間的に、ストレートに届く。画家が美しいと感じた世界を無理なく共有することができるのである。日本文化にとって伝統的な花鳥画は、現代を生きる日本人にとっても素直に親しむことができるモチーフであり、多様な価値観を横断する不変の力を持っている。東京藝術大学で学び院展を中心に活動する守の新作約30点を会場で見つくり楽しんで欲しい。

(編集部)